

ご用命・お問い合わせ先
アペックス産業株式会社
電話 03-3455-6474
FAX 03-3455-6558

〈詳しい案内は当社のホームページをご覧ください〉
URL <https://www.apex-sangyo.jp>

●切り取って保存してご利用ください。

APEX CLUB

アペックス産業株式会社

'22/11
第54号

「APEX CLUB」

発行 2022年11月1日(通算54号)
発行所 アペックス産業(株)「APEX CLUB」編集委員会
〒105-0014 東京都港区芝2-23-4
電話 03-3455-6474 FAX 03-3455-6558
URL <https://www.apex-sangyo.jp>
発行人 元木 貢
編集委員会
編集委員長 篠原 綾乃
編集委員 彦根 良雄、伊東 由里絵、杉山 敏
DTP・印刷 (株)協立印刷社

ギャラリー

第5回「綾展」

女流画家の草分け、故桜井浜江先生のお弟子さんと、顧問をされていた東京女子医大職員美術部のOBら有志による第5回綾展が、東京銀座の「GALLERY 美庵」で去る5月に開催されました。今回はその中から7点を紹介します。新型コロナの影響で3年ぶりとなりました。



「風を紡ぐ」 黒沢 裕子



「静物Ⅱ」 堀 桂子



「ゴリラ」 元木 貢



「赤竜」 元木 貢



「あれって?何かな」 益田 陽子



「昼さがり」 安藤 節子



「中東の街角」
高田 松子



むし籠

フジテレビ「ポップUP!」に生出演

2022年7月29日(金)にフジテレビの番組「ポップUP!」のクイズコーナー(シカクイズ:資格クイズ)で学お夏の害虫対策・解くと得するペストコントロール技術者に当社の佐々木健部長が生出演しました。そのコーナーは様々な業界の有資格者を招き、クイズ形式で生活に密着した便利な情報やハウツーを紹介するというものです。今回は、ペストコントロール1級技術者として出演し、家庭での害虫対策について解説しました。コーナーが開始されると、まずペストコントロールについて「ペストとは人に危害を加える有害な生物を指します」と紹介し、クイズでは①蚊の発生源、②スズメバチ対策、③布団のダニ対策について回答し解説しました。



生放送というところでかなり緊張が見られましたが、出演者の助けもあって

スムーズにこなすことができました。ペストコントロールは一般にはマイナーな業界と言えるかもしれませんが、衛生的な生活には欠かせない業務です。この資格をテレビで紹介することができ、少しでもこの業界に興味を持ってもらえればと思います。

書籍害虫の防除

シバンムシは木材や本、お菓子や香辛料など種類によって様々な物を加害する昆虫です。その中でもザウテルシバンムシは古い本、特に和紙でできた古書の被害が多いとされ、その生息はほとんど分かっておりません。屋外で採取されることはなく、常に図書館や書庫等で発見されます。貴重な古書の中にいる害虫であるため、普段私たちが使用する薬剤はほとんど使えません。防除としては、発生源を見つけて破棄する、または燻蒸処理を行います。今回、そんなザウテルシバンムシがある場所で見つけたため調査を行いました。幸い既に発生源が廃棄されたため被害は拡大しませんでした。



食害痕
棄されていたため被害は拡大しませんでした。

虫めがね

新宿御苑における蚊駆除演習

(公社)東京都ペストコントロール協会が中心となって、国立感染症研究所、日本環境衛生センターのご指導のもと、去る8月29日に新宿御苑で Dengue 熱などを媒介する蚊の駆除演習が行われました。当日は東京都、保健所、検疫所など127名が集まりました。2014年に代々木公園で Dengue 熱の患者が発生、その日の夕方には蚊の駆除を行いました。ウイルスを持った蚊は公園全体に広がり、さらに新宿御苑や上野公園まで総計162人が感染しました。この経験をもとにオリビック前の2019年に演習を実施し、マスクも多数取材に求め、私たちの活動を紹介していただきました。2020年にも予定していましたが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言で中止となり今回となりました。



Q&A

Q サル痘とはどんな病気ですか?
A 1970年にザイル(現在のコンゴ民主共和国)で初めて人への感染が確認された感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しており、2022年5月以降、サル痘流行国への海外渡航歴のない患者が欧州、米国等が増加しています。
Q どんな症状がですか?
A 潜伏期間は7日~14日で発熱と発疹があり、多くは2~4週間自然に回復しますが、子供が重症化、死亡した症例の報告が見られています。
Q 感染源や経路は?
A 感染したリスやウサギ、サル等に咬まれることや、感染動物の血液・体液・発疹等に接触することによる感染が確認されています。また、濃厚接触者の飛沫感染やリネン類を介した接触感染の報告がありますが、最近では性的接触による感染の報告が目立っています。
Q どうしたら予防できますか?
A 流行地での行動を避けることが重要です。発熱、皮疹がありサル痘が疑われる場合は、マスク着用を行い、咳エチケットを守り、アルコールなどで手指消毒等の感染対策を行い、医療機関を受診して下さい。使用したリネン類や衣類については、手袋を着用する等、直接的な接触を避け、洗濯、手洗いをすることが大切です。